



2026年7月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年12月12日

上場会社名 Link-Uグループ株式会社 上場取引所 東

コード番号 4446 U R L <https://link-u.group/>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 松原 裕樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループCFO (氏名) 内藤 大貴 TEL 03 (6260) 9279

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第1四半期の連結業績 (2025年8月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
2026年7月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	1,089	△14.9	△43	—	△44	—	△45	—	△38	—	△45	—
	1,280	46.4	127	0.6	125	△1.7	67	△18.9	24	△69.9	67	△23.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年7月期第1四半期	円 銭 △2.73	円 銭 —
2025年7月期第1四半期	1.73	1.72

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年7月期第1四半期	百万円 5,629	百万円 2,583	百万円 2,550	% 45.3
2025年7月期	5,720	2,629	2,589	45.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年7月期	—	—	—	—	—
2026年7月期(予想)	0.00	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年7月期の連結業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
通期	百万円 6,000	% 24.1	百万円 600	% 72.3	百万円 579	% 75.3	百万円 308	% 98.7	円 銭 21.73	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社Link-U Products

除外 一社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年7月期 1Q	14,172,900株	2025年7月期	14,172,900株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年7月期 1Q	68株	2025年7月期	68株
-------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年7月期 1Q	14,172,832株	2025年7月期 1Q	14,172,832株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

・経営環境と経営方針について

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、金利・為替の変動や一部の通商政策に伴う不確実性が残るもの、国内経済活動の活発化に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高騰が個人消費に及ぼす影響や、国際情勢の不安定化といった下押しリスクには引き続き注視が必要な状況です。

このような環境下、当社グループの主たる事業領域である電子書籍市場は中長期的な成長可能性を維持しておりますが、国内マンガサービス市場は競争激化に伴い、足元では厳しい状況が続き、やや下落基調で推移いたしました。こうした状況に対し、当社グループは、経済産業省が掲げる「エンタメ・クリエイティブ産業戦略～コンテンツ産業の海外売上高20兆円に向けた5カ年アクションプラン～」にも示されるように、日本のマンガ・IPが持つ海外市場の可能性を最重要視し、この巨大なグローバル市場の獲得を最重要課題と位置づけ、成長の軸足を海外へシフトさせるべく、事業を推進してまいりました。

当社グループは、「あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。」というグループパーカスのもと、自社設計のオリジナルサーバーによる圧倒的なコスト競争力と高速なデータ転送速度、および大手出版社との強固なリレーションと長期運用実績を強みとし、多くのコンテンツホルダーのDX推進パートナーとして、事業領域を拡大してまいりました。

これらの強固な基盤を踏まえ、当第1四半期連結累計期間を、グローバル市場での成長と顧客への提供価値の最大化及び生産性向上という目標達成に向けた収益構造の転換点と位置づけております。この転換を推進するため、グローバル展開の本格化、IPの強化、AIの活用推進を主要戦略としてまいりました。

・事業の取組み状況について

マンガサービス事業は、国内マンガサービスにおいて厳しい市場環境の中での収益維持に注力する一方、成長の軸足を海外市場にシフトさせました。特に海外展開においては、世界最大規模のアニメブランドであるCrunchyroll, LLCと業務提携し、海外向けマンガサービス「Crunchyroll Manga」をアメリカ及びカナダで提供開始いたしました。これは、国内サービスで培った基盤を起点とし、海外流通網を活用することで、IPコンテンツのグローバルでの循環を実現し、将来の成長につなげる重要な取り組みであります。

制作事業は、堅調に推移いたしました。開発売上においては、顧客のDXを支えるパートナーとして、継続して大型案件を受注いたしました。さらに、今後の収益性と競争優位性を飛躍的に高めるため、AI技術の導入を推進すべく、連結子会社にCAIO (Chief AI Officer) を新設するなど技術経営体制を刷新し、エンジニアの役割を「AIへの的確な指示とマネジメント」へと変革させることで、AI駆動型の開発体制への移行を進めました。コンテンツ売上については、自社および外部のIPコンテンツを、新たに開拓した海外プラットフォームへ提供を拡大することで、今後の海外市場の成長を背景に、大きな収益の柱となることを見込んでおります。

マーケティング事業においては、重要顧客との取引縮小による影響が継続し、業績を大きく下押しいたしました。これは、当社グループがグローバル展開等の将来の成長領域にリソースを優先的に投下したことが影響しています。

・経営成績について

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益1,089,359千円(前年同期比85.1%)、営業損失43,742千円(前年同期は127,930千円の利益)、税引前四半期損失44,077千円(前年同期は125,425千円の利益)、親会社の所有者に帰属する四半期損失38,633千円(前年同期は24,515千円の利益)となりました。

売上収益や各段階利益が変動した主な要因は、前述のマーケティング事業における重要顧客との取引縮小の影響であります。こうした中にあって、国内マンガサービスの市場環境の変化、およびグローバル展開といった将来の成長に向けた経営基盤強化のための先行投資を実行してまいりました。

当社グループは、当期間を戦略的基盤を構築する期間と捉え、中長期的な成長につなげてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は5,629,815千円となり、前連結会計年度末と比較して91,062千円の減少となりました。

その主な要因は、貸付金の増加136,157千円、その他の流動資産の減少141,025千円及び営業債権その他の債権の減少114,163千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,045,997千円となり、前連結会計年度末と比較して45,461千円の減少となりました。

その主な要因は、借入金(流動)の減少386,667千円及び借入金(非流動)の増加324,682千円によるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は2,583,817千円となり、前連結会計年度末と比較して45,601千円の減少となりました。

その主な要因は、利益剰余金の減少38,633千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月12日に公表した通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,654,662	1,617,173
営業債権及びその他の債権	1,128,533	1,014,369
その他の流動資産	478,406	337,380
流動資産合計	3,261,601	2,968,923
非流動資産		
有形固定資産	198,378	223,946
使用権資産	334,477	293,685
のれん	1,107,417	1,107,417
無形資産	255,143	276,775
持分法で会計処理されている投資	45,076	73,533
貸付金	—	136,157
その他の金融資産	432,144	432,257
繰延税金資産	85,492	115,326
その他の非流動資産	1,146	1,792
非流動資産合計	2,459,276	2,660,891
資産合計	5,720,877	5,629,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	879, 144	929, 103
借入金	839, 607	452, 940
リース負債	145, 658	144, 126
未払法人所得税	9, 939	29, 659
その他の流動負債	170, 244	157, 049
流動負債合計	2, 044, 593	1, 712, 879
非流動負債		
借入金	815, 204	1, 139, 886
引当金	54, 685	54, 691
リース負債	176, 975	138, 540
非流動負債合計	1, 046, 865	1, 333, 118
負債合計	3, 091, 459	3, 045, 997
資本		
資本金	477, 140	477, 140
資本剰余金	207, 109	207, 109
利益剰余金	1, 765, 380	1, 726, 747
自己株式	△135	△135
その他の資本の構成要素	139, 785	139, 822
親会社の所有者に帰属する持分合計	2, 589, 279	2, 550, 684
非支配持分	40, 138	33, 132
資本合計	2, 629, 418	2, 583, 817
負債及び資本合計	5, 720, 877	5, 629, 815

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
売上収益	1,280,416	1,089,359
売上原価	676,750	587,451
売上総利益	603,666	501,908
販売費及び一般管理費	499,760	557,274
その他の収益	4,978	1,235
その他の費用	620	1,310
持分法による投資損益（△は損失）	19,666	11,698
営業利益（△損失）	127,930	△43,742
金融収益	276	5,437
金融費用	2,780	5,773
税引前四半期利益（△損失）	125,425	△44,077
法人所得税費用	57,974	1,598
四半期利益（△損失）	67,450	△45,676
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	24,515	△38,633
非支配持分	42,935	△7,043
四半期利益（△損失）	67,450	△45,676
1株当たり四半期利益（△損失）		
基本的1株当たり四半期利益（△損失）（円）	1.73	△2.73
希薄化後1株当たり四半期利益（△損失）（円）	1.72	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
四半期利益（△損失）	67,450	△45,676
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	18	75
純損益に振り替えられることのない項目合計	18	75
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	—	—
その他の包括利益合計	18	75
四半期包括利益	67,469	△45,601
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	24,524	△38,595
非支配持分	42,944	△7,005
四半期包括利益	67,469	△45,601

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費及び償却費	62,250	65,997

(セグメント情報)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。